



免疫関連神経・筋障害

脳神経内科

CTCAE Grade	投与の可否	対処方法
Grade1 ●症状がない、あるいは軽度の症状がある；臨床所見の異常だけで、治療を要さない	投与を継続	モニタリングを継続する 血清クレアチンキナーゼの経過観察
Grade2 ●中等度の症状がある；身の回り以外の日常生活動作の制限がある；対症療法あるいは免疫治療が考慮される	Grade 1以下に回復するまで投与を休止 ベースラインまたはGrade1以下に回復した場合、投与再開を検討	脳神経内科にコンサルト 対症療法による症状緩和を行う 全身性ステロイド（プレドニゾロン0.5~1mg/kgまたはそれに相当する静注用製剤）の投与を考慮する 全身性ステロイドの投与にもかかわらず、改善が認められない場合あるいは悪化した場合は、Grade 3または4として扱う
Grade3 ●高度の症状がある；身の回りの日常生活動作の制限があり、免疫治療が必要である	永続的な投与中止	脳神経内科にコンサルト 入院治療を判断する 対症療法による症状緩和を行う 全身性ステロイド（プレドニゾロン1~2mg/kgまたはそれに相当する静注用製剤）の投与を直ちに開始する 全身性ステロイドの投与にもかかわらず、改善が認められない場合あるいは悪化した場合は、追加の免疫抑制治療*を考慮する 改善が得られた場合は、4週間以上かけてステロイドを漸減する
Grade4 ●生命を脅かす；緊急処置を要する		

